

1 「知ろう」

あなたは、次の絵を見て、
どんな人物を想像しますか？



アンコンシャス・バイアスは、**誰もが持つ**無意識の固定概念や先入観、偏見のこと。つまり、「無意識なきめつけ」や「思い込み」といったものです。

男性にお姫様抱っこされる女性？

大人に抱っこされる子ども？

介助されている人？

あなたは？



そう見える原因は、「習慣や慣習、刷り込み」などによるものです(p3参照)。そのため、人それぞれ、ものの見え方や感じ方に違いがあるのです。

会話の中で、「え？その発言はちょっと…」と感じたとき、そこに、アンコンシャス・バイアスが潜んでいるかもしれません。

造園学科へ進学したい

造園＝力仕事＝男子向き！？



その進路指導、適切？

時に、その固定観念や先入観(アンコンシャス・バイアス)が言葉や態度に現れ、受け手の不安や失望を引き起こし、知らぬ間に誰かを傷つけてしまうことがあります。

それを「**マイクロアグレッション**(小さな攻撃性)」といいます。

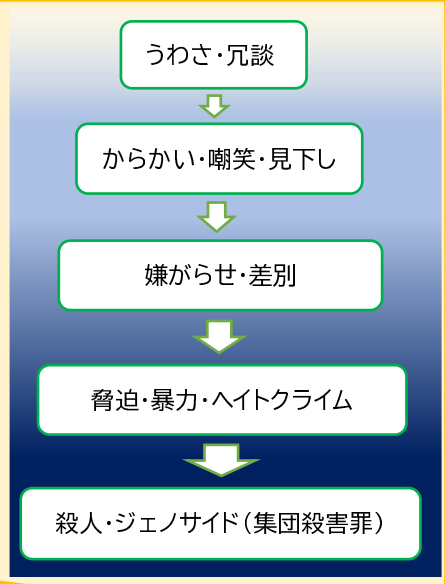
2 「考えよう」



「**マイクロアグレッション**(小さな攻撃性)」は、受け手の自尊心を傷をつけ、怒りや不安、失望を引き起こします。それは、受け手が何度もその経験を繰り返すことで、影響が蓄積し、時には、命にかかわる深刻な結果をもたらすことがあります。

また、そのような場が常態化すると、ヘイトスピーチや人権害侵を公然と行える社会になってしまい、多くの人にとっても、安心できる場所ではなくなります。

発言者は、たいてい無自覚です。むしろ、受け手が喜ぶと思っている場合もあります。そして、発言者は、自身のそれに気づかない限り、不安や失望を与え続けてしまいます。



年齢より若く見えるね

きっと喜ぶだろう



自分の価値観 ≠ 相手も同じ

どう感じるかは、「受け手」次第！

- 😊 若々しさを意識している人は嬉しいと感じる
- 😞 年齢を重ねる喜びを重視している人は失礼と感じる
- 😱 見下されたみたいでショックかも
- 😡 セクハラ…

3 「行動しよう」



まずは、「自分」から！

無意識からおこるアンコンシャス・バイアスを完全に払拭するのは難しいものです。だからこそ、常に自身の言動を振り返り、問いかけることが大切です。

① 自分の言動を振り返ろう

「普通は…だ」、「どうせ…だ」、「…べき」、「当然」等に注意！



② 相手を知ろうとしよう

相手の表情や会話の流れ等の変化に気づこう

③ 互いの違い（気づき）を話せる「場」をつくらう



寄り添える人になろう～「アクティブ・バイスタンダー」～！

最近、「^{アクティブ}行動する」・「^{バイスタンダー}傍観者・第三者」がいじめや差別、ハラスメントなどの‘抑止力’として注目されています。それは、誰かが正しくないと感じる言動に遭遇しているとき、積極的にアクションを起こす人のことです。行動を起こすことで事態の悪化防止や予防などの効果があります。「この状況をどうにかしたい！」と思ったとき、以下の方法で発言者の言動に同調する空気を変えることができます。

- 話題を変える・急に話しかける
- 故意に物を落とす等…
- 発言者や受け手の注意をそらす



Distract
注意をそらす



Direct
直接介入する

- それは不適切です
- 放っておいてください等、NO を表現



Delay
後でフォローする

- あとで、
- 「大丈夫？ できることある？」と話しかける
 - 落ち着くまでそばにいる等…

5 D

Document
証拠を残す

- 受け手や協力者の安全を確認した後、動画や音声を残す（取り扱いには注意する）



Delegate
第三者に助けを求める

- 周囲と一緒に声かけをお願いする
- 他人に力になれないか相談する等…



※危険が伴う場合があるので、自分自身の安全が確保できているか、確認する必要があります。

4 「もっと知りたい」

☆アンコンシャス・バイアスを生み出す要因

- **素早く情報処理するための「脳の機能」**…これまでの知識や経験を活用して、知っているものに当てはめる。
- **「習慣や慣習、刷り込み」**…慣れ親しんだ慣習、当たり前、常識と思っていたことが、時代に合わなくなっているのに気づかないまま発言してしまう。同質性が高く、暗黙のルールが強くある組織ほど要注意。
- **自己防衛心からの「エゴ」**…自分を正当化したり、よく見せたいと考えたり、自分によって心地よい状態を保ちたいという、自己保身からの言動。
- **「こだわり」・「感情スイッチ」**…その人特有の願望、劣等コンプレックス、囚われなどや何か不安感情を呼び起こすポイントがあると、平静ではいられないため、他者や現実を客観的に見ることができなくなり、時には攻撃的な言動をとってしまう。



このような理由で、考え方やものの見え方に、**違いやその人らしさ**が現れます。お互いの**違い**を受け入れることで、視野が広がり、**心の豊かさ**につなげることができます。

☆アンコンシャス・バイアスの分類

(これらはあくまで一例です)

分類(種類)	内容	例えば
ステレオタイプ (固定観念・類型)	人の属性や一部の特性をもとに先入観や固定観念で決めつける	・血液型で性格を判断する ・出身校、最終学歴で能力を判断する
集団同調性バイアス	周りと同じように行動してしまう	・みんながYESと言うとNOと言えない ・他の人がしていたら、自分も大丈夫だと思う
確証バイアス	自分の先入観や仮説を肯定する情報ばかりを見聞き、集める	・自分と違う意見は「例外」と思う ・事実を自分の都合の良いように解釈してしまう
アイルシュテルング効果	慣れ親しんだ考え方に固執し、他のものの見方に気がつかない	・これまでのやり方を否定されると苛つく ・自分の考え方に矛盾する情報を無視する
ハロー効果(※)	一部の長所で、その人の全てが良く見える	・学歴の高い人は、仕事も優秀だと思う ・字のきれいな人は教科の成績も良いと思う

※「ハロー効果」のように、良い意味のアンコンシャス・バイアスになる場合もあります。

☆特に気をつけたいのが、ステレオタイプ！

ステレオタイプの先入観や思い込み(固定観念)に、好き嫌いの感情・優劣・善悪等の価値観が加わると、「偏見」や「差別」につながりやすいといわれています。(これらはあくまで一例です)

○ 部落差別にかかわるステレオタイプ ・特定の地域に対して、「かかると面倒」と思う	○ ジェンダーにかかわるステレオタイプ ・生徒指導は、女性教員より、男性が適任
○ 世代にかかわるステレオタイプ ・年齢を重ねると頑固になる ・若者はコスパ、タイパを重視する	○ 性的マイノリティにかかわるステレオタイプ ・おかしい、変わっている ・一時の気の迷い、そのうち治るよ
○ 障害のある人にかかわるステレオタイプ ・障害について話すことをタブー視する ・障害でいろんなことができないと思う	○ 人種・国籍・地域(県民)性のステレオタイプ ・日本人は集団主義 欧米人は個人主義 ・(コロナ禍)他府県ナンバーは病気を持ち込む

これらは、

本当ですか？

「うわさ」や「思い込み」ではないですか？

📖 公的機関や複数の情報源で**確認**しよう。

- ① いつ・どこからの発信？
- ② だれが発信したのか？
- ③ その画像は本物？

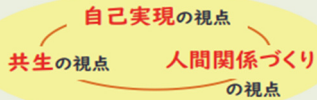


📖 心が不安になると、デマやうわさを信じやすくなりませんか。これまで、戦争や公害、震災、感染症などで実際にデマやうわさを信じたため、偏見や排除、差別がおきています。

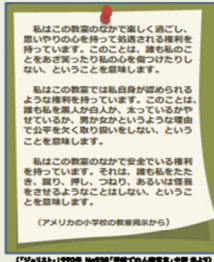
新しい 人権教育推進プラン

一人一人が大切にされる教育を目指して!

人権教育を進める
基本的な 3つの視点



人権とは、「人が生まれながらに持っている必要不可欠な様々な権利」です。人権が尊重される社会を築いていく上で、教育は大きな役割を担っています。「人権教育推進プラン」に沿って一人一人が大切にされる教育を進めましょう!



人権教育を進める 7つの取組

- ① 一人一人が大切にされる「場」づくり
- ② 教育の機会均等の保障
- ③ 「人」について、「権利」についての学習
- ④ 様々な人権問題についての学習
- ⑤ 出会いから対話・交流、そして互いの理解へ
- ⑥ 生涯にわたる学習を通した包摂の社会づくり
- ⑦ 資料等の充実、学校・家庭・地域の連携

奈良県教育委員会「人権教育推進プラン」 <http://www.pref.nara.jp/52596.html>

わたしたちにできること

人権とは、「人が生まれながらに持っている必要不可欠な様々な権利」です。人権が尊重される社会を築いていく上で、教育は大きな役割を担っています。

「人権教育推進プラン」に沿って一人一人が大切にされる教育を進めましょう。

☆「知る」チャンス子どもたちに!

学習する機会を設けることで、「知る」ことにつながります。正しい知識をより多くの対話の中で深めることが大切です。

☆正しい対処法は「場」づくりから!

アンコンシャス・バイアスは、誰もが持つものです。それを責めず、お互いの気づきにつながるよう、気軽に話せる(共有できる)場があることが大切です。

授業活用案

今回のテーマ「アンコンシャス・バイアス」 にも関連する項目の例

- 『なかまとともに』 小学校1 「26 どんな気持ちかな」 p 80～(指導書p 92～)
「27 あの子」 p 84～(指導書p 94)
- 『なかまとともに』 小学校2 「16 ふたりの『ゆう』」 p 50～(指導書p 46)
「21 さわだって AIDS にうつらないよ」 p 63～(指導書p 63～)
「23 『までい』な村をおそった大震災」 p 74～(指導書p 69～)
「27 外国につながるのある友だち」 p 86～(指導書p 85～)
- 『なかまとともに』 中学校 「5 こんなとき、どうする!？」 p 12～(指導書p 22～)
「7 だけど、くじけない」 p 18～(指導書p 28～)
「15 明日を創る!」 p 58～(指導書p 56～)
「25 女らしく?・男らしく?<自分らしく!!」 p 88～(指導書p 98～)
- 『なかまとともに』 高等学校 「2 Glass ceiling ガラスの天井」 p 4～(指導書p 15～)
「6 生き方を問い続けて」 p 20～(指導書p 33～)
「8 国際化する日本」 p 30～(指導書p 37～)
「9 ウイルスはひとを選ばない」 p 34～(指導書p 40～) など

各機関のホームページにも掲載されています。動画やワークシート等を職員研修や授業で活用してみよう!

○ 文部科学省
男女共同参画の推進に
向けた教員研修モデル
プログラム



○ 政府広報
オンライン
(アンコンシャ
ス・バイアス)



○ 内閣府
男女共同
参画局

